

一般質問

(2〜5面上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は25人50件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

分倍河原駅周辺の整備スケジュール 工期短縮の検討は

工法等による工期の短縮を基本設計の条件に組み込み設計作業を進めていく

松村 祐樹 議員(市政)

分倍河原駅周辺の基盤整備について、市が令和4年9月に鉄道事業者と基本協定を締結した際、以後のスケジュールに関し、設計期間が最短で



▲分倍河原駅前

3年間と聞いたが、その後のスケジュールの変化について聞きたい。まちづくり拠点整備推進本部長 鉄道事業者が2社関わるため調整事項が多いことなどから、基本設計及び実施設計期間を4年間に見直している。また、契約関係の手続きにも1年間を見込み、着工まで5年間の想定である。なお、工事期間の想

市役所以外で証明書が発行できる施設 他自治体の状況は

26市で施設数が本市と同等規模以上の自治体は2

比留間 利蔵 議員(市政)

マイナンバーカードを使用し取得する場合を含め、戸籍の届出があると処理が終わるまで証明書が発行できないと聞かすが、具体的な処理の日は、

市民部長 死亡届の場合、

本籍地、死亡地または届出人の所在地の自治体に提出することができ、本籍地と届出地が同一であれば、通常7営業日程度、本籍地と届出地が異なる場合は、届出を郵送

定は9年間で変わらない。議員 基本設計では工期短縮を検討していくのか。まちづくり拠点整備推進本部長 工法等による工期の短縮などを基本設計の条件に組み込んで、設計作業を進めることを鉄道事業者と確認している。他都市計画道路の進捗状況について

ジャイアンツ女子チームをはじめとするトップチームの支援等クラウドファンディングの状況は

市民球場のトイレ等改修工事でクラウドファンディングを実施する予定である

秋山としゆき 議員(市政)

ジャイアンツ女子チームをはじめとするトップチームの支援等のため、ふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディング(CF)の導入を以前の一般質問で提案したが、その後の状況は、

文化スポーツ部長 女子

野球選手をはじめ誰もが使いやすい市民球場にするため、1階トイレ等の改修工事費に対するCFを実施する予定である。議員 女子野球公式戦の開催など、同球場の価値が高まってきていると思うが、ネーミングライツの実施予定は、



▲誰もが使いやすい市民球場へ

一括質問

おくやみコーナーの設置について 今後の具体的な動きは

新庁舎移転時からの開設を目指す 関係課と調整を進めている

渡辺 しよう 議員(市政)

令和4年第4回定例会の一般質問において、最大13課で行う必要がある死亡後の手続きの負担軽減が見込める、おくやみコーナーの設置に対する考えを聞いたが、改めて市の認識を聞きたい。市民協働推進部長 超高齢社会を迎えつつある現代において、市民生活に必要な時代の潮流に沿った行政サービスであると捉えている。

文化スポーツ部長 同球場の老朽化対策に一定の区切りがついた時期を捉え、実施を検討していく。

受動喫煙防止とまちな環境美化促進に向けた分煙の取組について(その2) 府中の森市民聖苑の混雑緩和と大規模改修に向けて(その3)

子育て世代包括支援センターの人員配置に係る有資格者の職種等に具体的な基準はあるのか

虐待対策ワーカーなど3つの職種を置いている

えもとひろあき 議員(維新)

児童虐待等の対応に関する専門性の育成や職員配置の維持について、子育て世代包括支援センター「みらい」の取組は、子ども家庭部長 令和4年度には、都が主催する児童相談業務研修等に延べ103人が参加した。

文化センター圏域内で諸課題等を共有する会議体が必要と思うが市の考えは

コミュニティ協議会等の団体が連携・協力する仕組みを検討していきたい

佐藤 新悟 議員(市政)

本市では、文化センター圏域という考えが市民に浸透していると考えており、今後、高齢化等が進む中、地域課題の解決にはコミュニティ協議会や自治会など、様々な団体が当該圏域内で課題を共有し、解決に向けた橋渡

また、虐待の兆候を見逃さないために担当以外の職員でも対応できるように、複数の職員が連携を図り支援しているが、これは組織の質の低下を防ぐ機能もあると認識している。議員 「みらい」の人員配置の客観的な目安として、有資格者の職種等に市の具体的な基準はあるのか。また、研修項目ごとの時間数などの基準は、

子ども家庭部長 都の要綱に基づき、虐待対策ワーカーなど3つの職種を置いている。なお、研修の時間等の基準はない。他 災害時における安全な避難について

子どもの未来を応援する基金の創設を提案するがどうか

基金の創設に向けて鋭意取り組んでいく

増山 あすか 議員(市政)

新たな子育て支援策を開始する上での財政的な裏付けとして、子どもの未来を応援する基金の創設を提案するがどうか。市長 子育ての環境整備や支援については、これまで以上に取り組むことが強く求められていると感じる。このことから、子どもや子育てを重点的に支援する基金を創設し、様々なニーズに対応することは大変重要であると

捉えているため、今後、鋭意取り組んでいく。議員 幼児期や小学生の居場所づくりが充実している一方で、中学・高校生の放課後、休日の居場所は少ないようだが、整備する予定は。子ども家庭部長 先進事例の研究や本市のニーズ調査などにより、整備の必要性を検討していく。他 粗大ごみの収集待ちが長期化していることの改善について



▲文化センターは地域コミュニティ活動の拠点

※()内は、会派名を略して掲載しました。 市政…府中市議会市政会 市フォ…府中市議会市民フォーラム(立憲民主党・都民ファーストの会・無所属) 公明…公明府中 自由…自由クラブ 共産…日本共産党府中市議団 維新…日本維新の会 ネット…生活者ネットワーク 無所…無所属 れ仲…れいわ野口なかおと仲間たち ※一般質問のタイトルには質問方式(一括質問または一問一答)を記載しております。